Dental.Comm

東京歯科大学千葉病院医療連携NEWS デンタルドットコムvol.4-1

2008年4月、5月
薫風号

東京歯科大学千葉病院 医療連携室 発行
TEL 043-270-3279（または3641）
URL: http://www.tdc.ac.jp/hospital/ch

医療連携室、ついに始動！

新医療連携室より

前号よりご案内しております新しい医療連携室が、平成20年4月より東京歯科大学千葉病院の1階フロアーに設置しました。日頃より医療連携にご理解とご協力をいただいております諸先生方には、今まで以上にスムーズな連携体制を提供できるよう努力してまいる所存です。

新しい医療連携室には2名が常勤し、病診連携はもちろん病病連携や今後稼動予定の「摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科との連携も充実させていきたいと思います。

医療連携室では、諸先生方のご意見等を収集し、ご紹介いただいた患者様により質の高い医療を提供できるよう努めて参りますので、今後とも宜しくお願いいたします。

東京歯科大学千葉病院医療連携室
萩田恵子、足立悦子

医療連携室は病院棟1階
放射線科入り口横にあります。

口腔ガン検診（予定）

平成20年度の口腔ガン検診は、以下の通りです。（平成20年4月現在）

6月：千葉市
（千葉市歯科医師会主催）
7月：市原市
（市原市保健センター主催）
11月：市原市
（市原市保健センター主催）

平成20年度 医療連携委員会メンバー

千葉病院医療連携委員
委員長：　髙野伸夫
副委員長：井上　孝、吉峯規雄
委員：　足立悦子、大久保真衣
大塚　茂、杉山利子
関口　浩、高橋　賢
武田友孝、萩田恵子
古谷義隆、間宮秀樹
三穂乙暁、村川　孝
茂木悦子、薬師寺孝
矢島安朝、山本信治
米津博文、和光　衛
顧問：　石井拓男、中川寛一

学外委員
浅野薫之、阿左見葉子
齋藤　守、泉水孝夫
古屋　浩、吉岡三郎

五十音順　（2008年4月現在）

今年度も医療連携症例検討会を開催します！

今年度も7月中旬頃に医療連携症例検討会を開催いたします。演題、日程等は追ってご連絡いたします。

Dental.Comm

東京歯科大学千葉病院紹介患者担当表

診療科名	月	火	水	木	金	土
保存科 (3904)	[歯内療法学]					
	加藤(広) 土屋 土倉 石川 末原 宇都宮 齋藤(健) 鳩貝 山田(雅)	末原 土屋 藤井 石川 井原 宇都宮 齋藤(健) 鳩貝 山田(雅)	加藤(広) 山田(雅) 土倉 土屋 末原 石川 藤井 宇都宮 井原 鳩貝	加藤(広) 土屋 末原 石川 藤井 宇都宮 井原 鳩貝 齋藤(健)	加藤(広) 山田(雅) 土倉 土屋 藤井 石川 井原 宇都宮 齋藤(健) 鳩貝	
	[歯周病学]					
	太田 渡邉 増田 嶺 衣松 水野 山本(茂) 藤波 奥田 細井 富田 牧野 藤田	太田 奥田 増田 嶺 富田 藤波 衣松 細井 山本(茂) 牧野	増田 藤田 衣松 渡邉 山本(茂) 嶺 奥田 水野 富田	太田 渡邉 増田 嶺 衣松 水野 山本(茂) 藤波 奥田 細井 富田 牧野 藤田	太田 水野 藤田 藤波 渡邉 細井	
	[保存修復学]					
	天谷 大須賀 亀山 久木留 中澤 森川 岡田	天谷 久木留 中澤 森川	天谷 大須賀 亀山 久木留 岡田	天谷 大須賀 亀山 久木留 中澤 森川 岡田	亀山 久木留 中澤 大須賀 岡田	
	来院受付時間は9:30～11:00となっております。					
口腔外科 (3901)	髙野 柴原 内山 髙木(多) 片倉 中野 米津(博) 須賀 野村(武) 山本(信) 神山 薬師寺 澁井 池田 江口 髙木(亮) 椎木	柴原 神山 澁井 薬師寺	内山 中野 江口 髙木(亮)	髙野 片倉 野村(武) 山本(信)	髙木(多) 米津(博) 須賀 池田 椎木	各歯科医師交代制
	上記以外にも、随時新患は受付をしております。 初診の際、事前に担当医宛のご予約のお電話を頂いた場合は、上記の担当医が必ず対応いたします。					
補綴科 (3905)	高梨(聖) 本間 野本	嶋村 石崎 上田	齋藤(文) 鈴木 天崎	久永 三穂 栁澤	大神 田原 田坂	杉山(哲) 山田(淳) 田中
	来院受付時間は9:30～11:00となっております。					
矯正歯科 (3903)	末石 野嶋 坂本(輝) 野村(真) 石井(武) (午前中のみ)	茂木 野嶋 西井 石井(武) (午前中のみ)	野村(真) 小林(誠) 東郷 (午前中のみ)	茂木 西井 小林(誠) (午前中のみ)	末石 坂本(輝) 小林(誠) 東郷 (午前中のみ)	第1土曜日 茂木 野嶋 坂本(輝) 小林(誠) 野村(真) 第3土曜日 茂木 野嶋 坂本(輝) 西井 第4、5土曜日 野村(真) 西井 小林(誠)
小児歯科 (3906)	関口 米津(卓) 今井(裕) 福山 小林(菜) (午前中のみ)	関口 米津(卓) 福山 原 (午前中のみ)	米津(卓) 今井(裕) 福山 原 小林(菜) (午前中のみ)	関口 米津(卓) 今井(裕) 原 小林(菜) (午前中のみ)	関口 今井(裕) 福山 原 小林(菜) (午前中のみ)	各歯科医師交代制
	急患の場合は、午後も対応いたします。					
歯科麻酔科 (3902)	櫻井(学) 間宮 笠原 松浦(由) 松浦(信) 塩崎	間宮 松浦(信) 松木	一戸 櫻井 間宮 松浦(由) 松木 塩崎	笠原 松木 塩崎	櫻井(学) 笠原 松浦(由) 松浦(信)	各歯科医師交代制
放射線科 (3907)	佐野 和光 原田 神尾 山本(あ) 坂本(潤)	佐野 和光 原田 山本(あ) 坂本(潤)	佐野 和光 神尾 山本(あ) 坂本(潤)	原田 神尾 山本(あ) 坂本(潤)	佐野 和光 原田 神尾	各歯科医師交代制
	CT、MRI、USについては、事前のご予約のお電話をお願いいたします。					
スポーツ歯科 (3869)	石上 武田 中島	石上 武田 [午後は中島]	石上 中島	武田 中島	石上 武田	各歯科医師交代制
総合診療科 (3830)	杉山(利)	近藤	高橋(俊)	山倉	野呂	各歯科医師交代制
口腔インプラント科 (3653)	伊藤(太)	伊藤(太) 古谷	古谷	矢島 伊藤(太)	矢島	各歯科医師交代制
臨床検査部 (3920)	松坂 村上	井上 村上	松坂 村上	井上 村上	松坂 村上	

※1)各診療科受付へ直接かける際は、「043－270－＊＊＊＊(診療科名の下4ケタ)」をダイヤルして下さい。
2)各診療科とも、事前にご予約のお電話をお願いいたします。
3)講義、手術、出張等で担当医が不在の場合がございます。その際は代理の担当医が診療を行いますので、ご了承下さい。
4)通常の診療時間:午前は9:30～12:30、午後は13:30～17:30となっております(土曜日は午前中のみの診療、第2土曜日は休診日です)。
5)担当表には、原則、助教以上の医局員を記載しております。
6)各歯科医師交代制と記載されている診療科宛に紹介状を送付する場合は、宛先を「診療科 御中」とし、ご送付下さい。

東京歯科大学千葉病院専門外来紹介患者担当表

Dental.Comm

専門外来	月	火	水	木	金	土
口臭外来 (3904)		角田　増田 亀山　富田 山本(茂)　嶺 土屋　細井 渡邉		角田　杉山(利) 亀山　富田 山本(茂)　藤田 土屋　嶺 渡邉　細井		
	診療日は毎週火曜日、木曜日の9:30～、11:00～となっております。					
顎変形症外来 (3903)	[矯正歯科]					
	末石 野嶋 石井(武) (午前中のみ)	茂木 野嶋 石井(武) (午前中のみ)	坂本(輝) 野村(真) 小林(誠) (午前中のみ)	茂木 西井 小林(誠) (午前中のみ)	末石 坂本(輝) 野村(真) (午前中のみ)	第1土曜日 茂木　野村(真) 第3土曜日 野嶋　坂本(輝) 第4、5土曜日 西井　小林(誠) 石井(武)
	[口腔外科] 高野、柴原、内山、髙木(多)、片倉、須賀、中野、米津(博)、野村(武)、山本(信) ＊口腔外科の顎変形症外来の初診・再診は随時行っております。					
リラックス治療外来 (3902)	櫻井(学)　間宮 笠原　松浦(由) 松浦(信)　塩崎	間宮 松木 松浦(信)	一戸　櫻井(学) 間宮　松浦(由) 松木	笠原 松木 塩崎	櫻井(学)　笠原 松浦(由)　松浦(信)	各歯科医師交代制
慢性の痛み・しびれ外来 (ペインクリニック) (3902)	笠原 松浦(信)	間宮 松浦(信)	一戸　間宮 笠原　松木	笠原 松木 塩崎	笠原 松浦(信)	各歯科医師交代制
障害者歯科外来Ⅰ (歯科麻酔科) (3902)	櫻井(学)　間宮 笠原　松浦(由) 松浦(信)　塩崎	櫻井(学)　間宮 松木　松浦(信)	一戸　櫻井(学) 間宮　松浦(由) 松木　塩崎	笠原 松木 塩崎	櫻井(学)　笠原 松浦(由)　松浦(信)	各歯科医師交代制
障害者歯科外来Ⅱ (小児歯科) (3906)	関口 米津(卓) (午前中のみ)	関口 米津(卓) (午前中のみ)	米津(卓) (午前中のみ)	関口 米津(卓) (午前中のみ)	関口 (午前中のみ)	
	急患の場合は、午後も対応いたします。					
口腔腫瘍外来 (3901)	高野、柴原、片倉、野村(武)、神山、山本(信)、薬師寺、池田、江口 ＊初診は随時行っておりますが、定期観察のみ、毎週月曜日(13:30～16:00)となっております。					
唇顎口蓋裂外来 (3901)	[口腔外科] 内山、高野、髙木(多)、中野、須賀、澁井 ＊口腔外科の唇顎口蓋裂外来の初診は随時行っております。再診の患者のみ、毎週月曜日と土曜日の診療となっております。					
	[小児歯科]					
	関口 今井(裕) 福山 (午前中のみ)	関口 福山 原 (午前中のみ)	今井(裕) 福山 原 (午前中のみ)	関口 今井(裕) 原 (午前中のみ)	関口　今井(裕) 福山　原 (午前中のみ)	関口 今井(裕) 福山 原
	急患の場合は、午後も対応いたします。					
	[矯正歯科]					
	末石 野嶋 (午前中のみ)	茂木 野嶋 (午前中のみ)	坂本(輝) (午前中のみ)	茂木 西井 (午前中のみ)	坂本(輝) 野村(真) (午前中のみ)	第1土曜日 茂木　野嶋 第3土曜日 茂木　坂本(輝) 第4、5土曜日 西井
ドライマウス外来 (3920)		村上		村上		
味覚異常外来 (3920)	村上 田崎	松坂 田崎		村上 田崎		
歯科金属アレルギー外来 (3920)	松坂 村上	井上 村上				
セカンドオピニオン外来 (3830)	保存科(中川、山田(了)、平井、高瀬)、口腔外科(柴原、内山、高野、片倉、須賀)、 補綴科(櫻井(薫)、佐藤(亨)、杉山(哲)、久永)、矯正歯科(末石、茂木、坂本(輝)、野嶋)、 小児歯科(関口、米津(卓))、スポーツ歯科(石上、武田)、総合診療科(角田、杉山(利)、高橋(俊))、 口腔インプラント科(矢島、伊藤(太))、歯科麻酔科(一戸、櫻井(学))、放射線科(佐野、和光)、 臨床検査部(井上、松坂) ＊予約制となっております。事前に受診申込をして頂き、予約日を決定。相談内容に応じて各専門医が担当いたします。					
顎関節外来 (3901)	[口腔外科]					
	米津(博)		米津(博)		米津(博)	
	＊診療時間は13:30～16:00です。					

※1)各専門外来受付へ直接かける際は、「043－270－＊＊＊＊(専門外来の下4ケタ)」をダイヤルして下さい。
2)各専門外来とも、事前にご予約のお電話をお願いいたします。
3)講義、手術、出張等で担当医が不在の場合がございます。その際は代理の担当医が診療を行いますので、ご了承下さい。
4)通常の診療時間:午前は9:30～12:30、午後は13:30～17:30となっております(土曜日は午前中のみの診療、第2土曜日は休診日です)。
5)担当表には、原則、助教以上の医局員を記載しております。
6)各歯科医師交代制と記載されている診療科宛に紹介状を送付する場合は、宛先を「診療科 御中」とし、ご送付下さい。

リレーミニレクチャー

―歯周組織再生誘導法（GTR、Guided Tissue Regeneration）―

歯周病学講座　准教授　澁川 義宏

1. はじめに

本年度の診療報酬改定で「歯周組織再生誘導法（GTR法）」が保険導入されました。本稿では今回の新規保険導入に際し、GTR法の臨床例を紹介します。

2. GTR法とは

GTR法とはフラップ手術時に保護膜を用いて歯肉上皮細胞の根尖側方向への侵入と歯肉結合組織の処置歯根面への付着を阻止し、歯根膜由来の未分化間葉細胞を歯根面に誘導させ、新付着（結合組織性付着）を得る方法です。 GTR法は、①2壁性または3壁性の垂直性骨欠損、②2度根分岐部病変（Lindheの分類）が適応症です。

3. 保護膜の種類と特徴

GTR法に用いられる保護膜は吸収性膜と非吸収性膜に分けられます。それぞれの利点として、吸収性膜は、 ①保護膜除去のための二次手術が不要である、②組織親和性に優れているため保護膜の露出の危険性が少ない。一方、非吸収性膜は、 ①スペースメーキングに優れる、②保護膜除去時（2次手術時）に新生組織量が確認可能である。以上のように各保護膜の特徴をよく理解し、症例に応じた使い分けが重要となります。

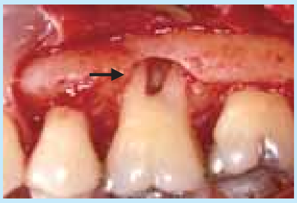
（1）吸収性膜応用症例（症例1）

骨欠損部が骨壁で囲まれ、スペースが確保されている症例（幅の狭い3壁性の垂直性骨欠損、限局した2度根分岐部病変など）が適応です。

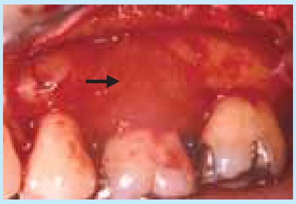
（2）非吸収性膜応用症例（症例2）

骨欠損部が骨壁を失い、スペースが確保されず保護膜によってスペースメーキングする症例（幅の広い2壁性または3壁性の垂直性骨欠損、2度根分岐部病変と垂直性骨欠損との複合症例など）が適応です。

吸収性膜応用症例（症例１）



a：上顎左側第一大臼歯頬側に2度の根分岐部病変を認める。



b：病変部廓清後、吸収性保護膜（矢印）を応用。

c：術前。上顎左側第一大臼歯頬側の根分岐部にX線透過像を認める。

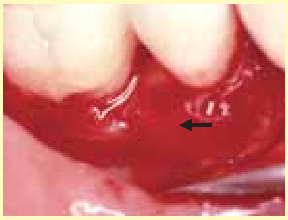
d：術後5年。歯槽骨の再生によるX線不透過像の増加を認める。

e：術後5年。
プロービングデプスは全周2～3mm。垂直4mm、水平2mmのプロービングアタッチメントゲインを獲得。

非吸収性膜応用症例（症例２）

a：下顎右側第一大臼歯近心部に幅広い、骨壁を失っている骨欠損を認める。

b：十分なスペースメーキングを行い、非吸収性膜を応用。



c：術後6週。非吸収性膜を除去。骨欠損部に新生組織を認める（矢印）。

d：術前。下顎第一大臼歯の近心部にX線透過像を認める。

e：術後3年。同部に歯槽骨の再生によるX線不透過像の増加を認める。